

旧二葉中学校校舎利活用基本構想・基本計画 整備方針（案）

事前調査等

- ・ 既存施設の詳細調査（建築・構造・設備・外構）を要する。
 - ① 建物全体の老朽化度等を把握する。
 - ② 再利用できる項目を整理する。
 - ③ 地質データの把握、情報がない場合にはボーリング調査を行う。
 - ④ 特に各種防水性能、漏水、タイル・塗装のはく離、建具等を重点的に確認する。
 - ⑤ 各設備機器の作動の有無。
- ・ 追加購入等が必要な什器、家具、工作機械等を検討する。

解体計画方針

- ・ 解体撤去及び整地を予定している建物等は下記とする。
 - ① 屋外プール
 - ② 屋外テニスコート

建築改修計画方針

- ・ 既存校舎の間仕切壁、建具、各仕上材等は可能な限り現状のまま利用する。
- ・ 用途変更に伴う内装の改修や撤去は、最小限に留める。
- ・ 利用可能な家具、什器類は再利用を行う。
- ・ 外装補修工事（想定）
 - ① 屋上、屋根防水補修
 - ② 外装材補修
 - ③ 外壁・天井漏水補修
 - ④ 金属建具補修
- ・ エレベーターを新設する。
- ・ サインも含めてユニバーサルデザインに考慮する。
- ・ 芸術活動や教育プログラムの一貫とした什器製作、壁面塗装等も検討する。

構造計画方針

- ・ 構造計算を伴う新設工事は下記とする。
 - ① エレベーター新設工事（杭基礎は想定しない）
 - ② 野外炊事場新設工事
- ・ 下記の構造設計等を行わないことを前提とする。
 - ① 旧校舎の耐震診断 耐震補強設計
 - ② エレベーター新設工事に伴う旧校舎の既存遡求計算
 - ③ 新規設備スリーブ等の旧校舎への既存遡求計算
 - ④ 屋外階段の設置、屋外擁壁設置、杭施工他

設備改修計画方針

- ・使用できない既設の配管、配線設備等は可能な限り撤去は行わない。
- ・可能な限り既存設備を再利用する。
- ・熱源の優位性を検討し、エコロジカルな設備を採用する。
- ・防犯設備等の有無を検討する。

- ・電気設備改修工事
 - ① 電力設備における負荷計算や照度計算等を行う。
 - ② 下記の居室等の電灯、コンセントは新設、または改修とする。
宿泊室、指導員室、談話室、調理室、工作室、アーカイブギャラリー
和室、工房ギャラリー、休憩室、事務室、誰でもトイレ、浴室、脱衣室
屋外炊事場
 - ③ 工房ギャラリーとアーカイブギャラリーのみ特殊照明や動力を検討する。
 - ④ 無線LANを検討する。
 - ⑤ その他、必要な機械設備に電力を供給する。

- ・機械設備改修工事
 - ① 機械設備における負荷計算を行う。
 - ② 全館冷暖房設備を検討する。（倉庫、機械室、廊下、階段、トイレを除く）
 - ③ 下記居室には、換気設備を設置する。
宿泊室、指導員室、UB、新設トイレ、各準備室、談話室、調理室、音楽室、
リネン室、倉庫、工作室、和室、工房ギャラリー、休憩室、事務室、
誰でもトイレ、浴室、脱衣室、カフェ食堂、ラウンジ
 - ④ 下記居室等には、給水給湯排水設備の新設、または改修を行う。
宿泊室内の洗面器、指導員室内の洗面器、UB、新設トイレ、調理室、工作室、
工房ギャラリー、休憩室、誰でもトイレ、浴室、脱衣室内の洗面とトイレ、
カフェ食堂、ラウンジの手洗い、厨房内（追加設置の機器による）
 - ⑤ 水呑場の給湯設備の設置有無を検討する。
 - ⑥ 調理内容により厨房設備機器の追加設置を検討する。

- ・消防設備改修工事
 - ① 自動火災放置機や屋内消火栓、スプリンクラー等、現行法規等に整合するように工事を行う。

外構計画方針

- ・土地の改質や改変は最小減に留める。
- ・既存の駐車場やテニスコート、また校庭を利用して下記外構の整備を行う。
 - ① 大型バスの発着を考慮した駐車場・駐輪場
 - ② 野外炊飯場（一部屋根あり）

以上